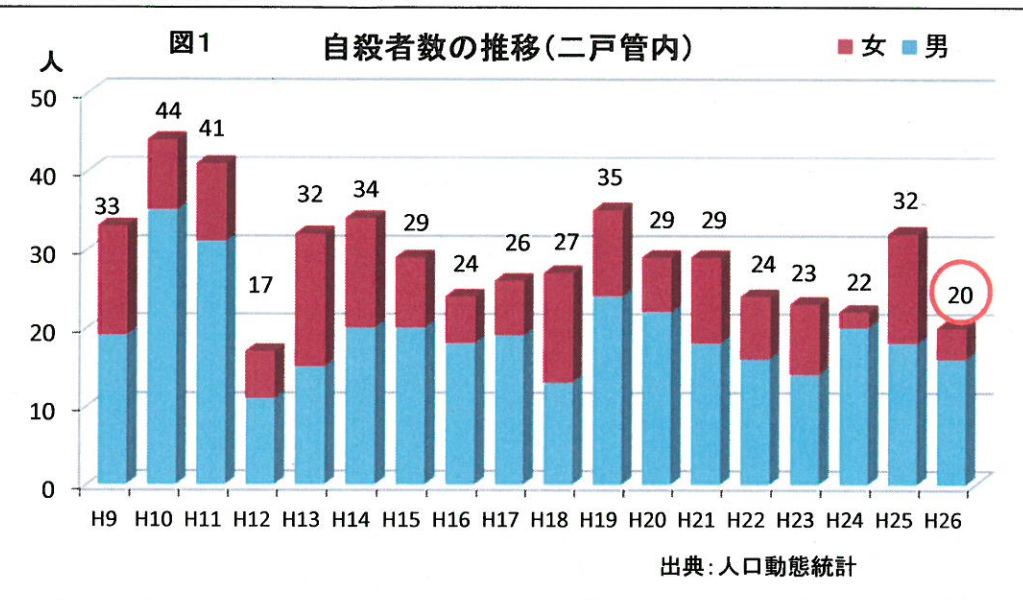
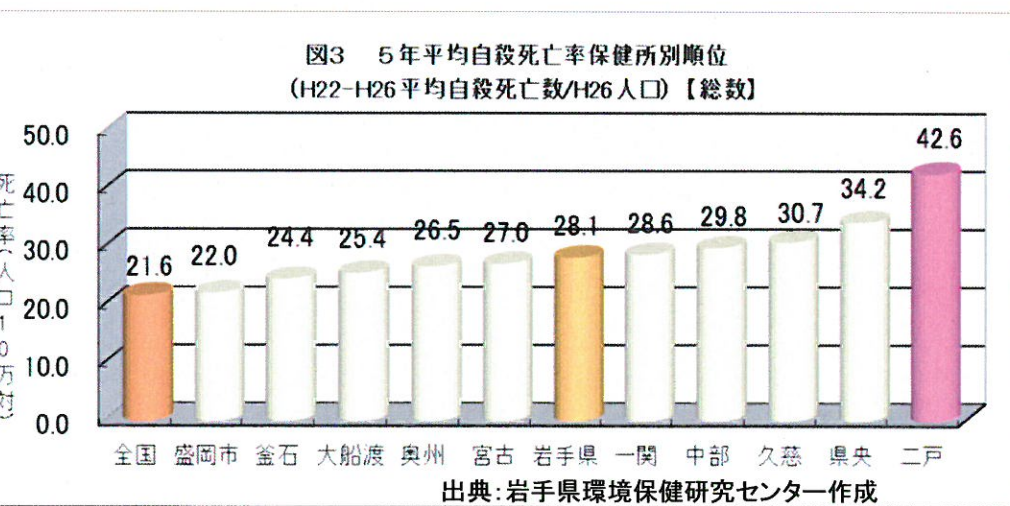


二戸地域における現状と課題

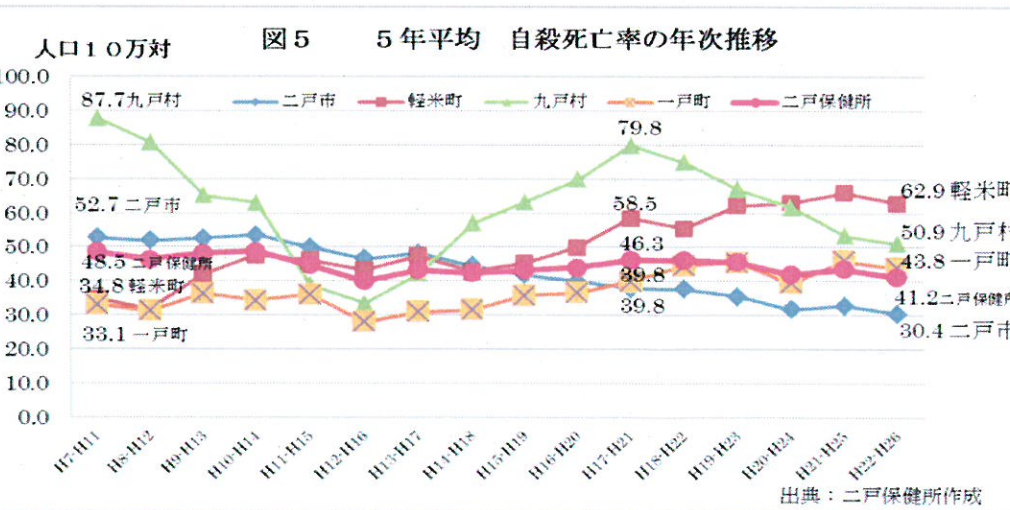
○自殺者数は平成10年をピークに増減を繰り返し、平成13年以降20人を越える状態が続いています。



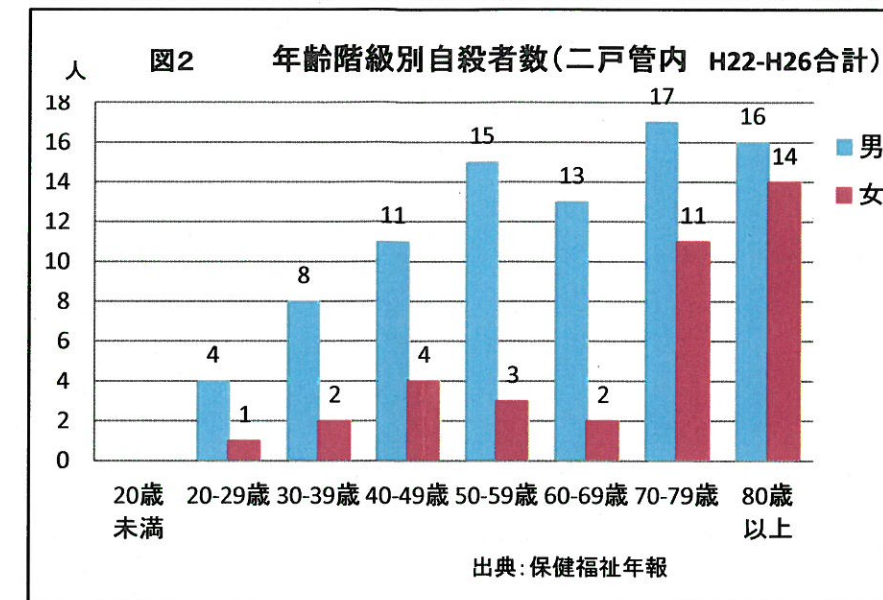
○自殺死亡率を5年平均で見ると二戸保健所が最も高く、全国の2倍となっています。



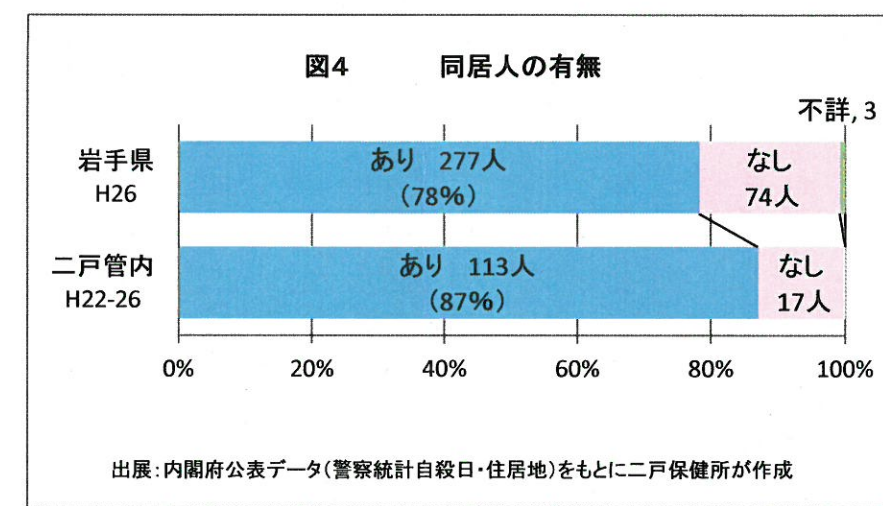
○自殺死亡率の推移を5年平均で見ると、二戸全体では横ばい、二戸市と九戸村は減少、軽米町と一戸町は増加傾向にあります。



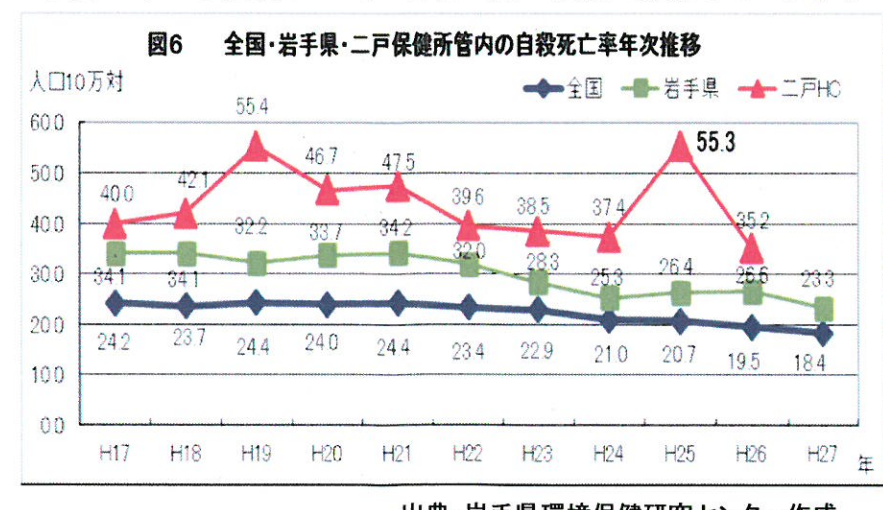
○年齢階級別の自殺者数は、男性では年齢が高くなるにつれて増加し50歳以降横ばい、女性では70歳以降急激に増加しています。



○平成26年の自殺者のうち同居人のいる割合は、二戸保健所管内では87%となっています。



○自殺死亡率の年次推移を全国、県、二戸地域で比較してみると、平成17年から継続して二戸地域が高い状況で推移しています。



アクションプランにおける取組の方向性

- 総合的な自殺対策の推進 (ネットワーク、一次、二次、三次予防、精神疾患へのアプローチ、職域へのアプローチ)
- ネットワークの拡充
- 働き盛り世代のメンタルヘルス対策の推進
- 介護予防事業等と連携した高齢者支援
- 地域の自殺対策を推進する人材養成
- 集中的な普及啓発の取組



H28年度取組事業の概要

- ネットワーク
 - 二戸地域自殺対策推進協議会 1回
 - 二戸地域自殺対策ネットワーク連絡会 8回
 - 市町村連絡会の開催 4回
- 一次予防(こころの健康づくりの普及啓発等)
 - 心の健康づくり講演会、出前講座の実施 4回
 - 高齢者を対象とした共食事業 8回 (※食生活改善推進員との協働事業)
 - 自殺防止月間(9月)における普及啓発の実施
 - 傾聴ボランティア養成講座 4回1コース(講座修了者23名)
 - 傾聴ボランティアフォローアップ研修会 2回
 - 傾聴ボランティア団体育成支援、代表者連絡会
 - ゲートキーパー養成研修 4回
- 二次予防(ハイリスク者支援等)
 - こころの相談(電話、面接、訪問等随時対応)
 - 自殺未遂者支援(ケア会議への参加、市町村連絡会 4回)
 - 自傷行為の理解と援助研修会(精神保健福祉センターとの共催事業) 1回
 - くらしとこころの総合相談会 1回(3月11日開催予定 ※H28年度新規事業)
- 三次予防(自死遺族ケア)
 - 自死遺族家族交流会 4回
- 精神疾患へのアプローチ
 - 家庭訪問や面接等
 - ひきこもり家族教室 4回
 - ひきこもり個別相談会 2回
 - ひきこもり地域支援ネットワークネットワーク連絡会 1回
- 職域へのアプローチ
 - 事業所、商工関係団体の訪問 7箇所(1月末現在)

H29年度の重点的な取組(予定)

- 働き盛り世代のメンタルヘルスの推進
 - 事業所及び商工関係団体への訪問、出前講座の開催
 - アルコール健康問題に関する普及啓発
- 介護予防事業等と連携した高齢者支援
 - 高齢者支援、介護関係従事者等を対象とした研修会の開催
 - 高齢者を対象とした共食事業やサロン事業との連携
- 相談ワンストップ化の推進
 - 関係機関、団体協働による総合相談会の開催(ワンストップ相談窓口)
 - 生活困窮者自立相談支援事業とタイアップした取組の推進
- 自殺ハイリスク者への支援体制の強化
 - 自殺未遂者支援に向けた市町村連絡会、ケア会議、事例検討会の開催
- 自殺対策市町村計画策定に向けた支援

機関名	二戸地域の課題
県立一戸病院	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自殺が多いこと。 ・自殺未遂者の再企図行為を防ぐため、医療機関と行政との連携。 ・若年層の自殺や自殺未遂に対する対応の必要はあると思うが、具体的な方法が共有されていないのではないか。
県立二戸病院	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中の高齢者に対して退院支援に力を入れている。家族も含め、退院後に安心して生活できれば、自殺防止になる。地域住民がゲートキーパーの役割を果たしていくように取り組む。
二戸公共職業安定所	<ul style="list-style-type: none"> ・求人状況が改善されるなかでも生活に困窮する方は絶えない。 ・関係機関の相互の協力は引き続き必要と感じている。
二戸市商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化と人口減少 ・商工業者の後継者不在と自然廃業の増加。 ・市内中心部での生鮮食品等の買い物の場の喪失。
県北教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題を中心に各学校における組織的対応の強化を図ること。 ・各種支援団体等の連携の強化を図ること。
二戸地区社会福祉協議会連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺リスクに陥っても相談に繋がりにくい気質がある。
二戸市保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが弱くなってきている。 ・アパート等が増え、顔のつながりが少なくなってきている。 ・保健推進員の活動を地域住民に知ってもらうこと
精神保健ボランティアひまわり	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策に取り組んでいる事を知らない人が多く、地域住民がもっと知る手段はないものか。
傾聴ボランティアほほえみ笑・笑・笑	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴活動をする中で、介護についての大変さを訴える人が多くみられる。もっと介護について見守りや助けが必要だと感じた。 ・研修会や講習会などが増え、知識を得る場はあるが、知識を活用する場が少ないように思う。 ・地域によって近所の付き合い方が違うので、トラブルになることもある。良い形で近所付き合いを活用していれば良いと思う。
NPO法人いわて生活者サポートセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関のより強固な顔の見える関係づくり
県立福岡高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていても周囲に自分からは相談できないでいたり、誰に（どこに）相談すればいいのかわからなかったり、という状況に甘んじてしまっている人が、まだ少なからずいるものと思われる。
県立一戸高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が充実している反面、負の情報が広がりやすいことから、課題を抱える家庭が、地域から孤立してしまう傾向があり、家庭の課題が子どもたちに影響を与えているケースがある。
二戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・ポピュレーションアプローチが必要である。 ・かわり、つながり、支え続ける環境と複数の居場所づくりが必要。 ・実は意識しなくても自殺対策をしているけども、それに気が付いていないことを気づけるような、語る場所、交流会が必要である。
九戸村	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺率の高い現状を今後も積極的に周知していくことが必要。 ・関係機関との連携を今後も大切にし、協力しやすい体制を築いていくことが必要。
一戸町	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺未遂者で一人暮らしの方に対して、見守りの体制が不十分であること。入院にならなかった場合の見守りをどこでどのように行っていくか。
岩手県二戸保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・住み心地の良い地域、程よい地域づくりの視点で、自殺対策を考え取組んでいく基盤づくりをしていきたい。

地域づくり・居場所づくり
 近所づきあい、仲間、人とのつきあい
 生活基盤、雇用等

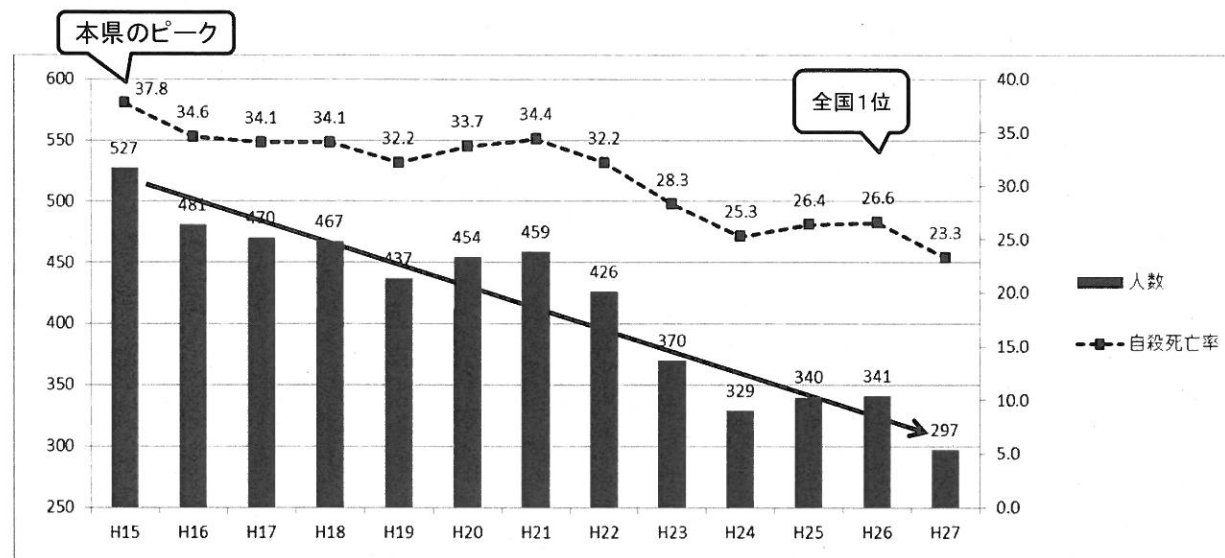
普及啓発・教育
 周知（住民、各機関の職員）
 相談できる関係づくり
 活動紹介

ゲートキーパー養成
 各機関（組織・人）のできることや
 役割を確認

連携強化
 各機関・多職種の顔の見える関係づくり

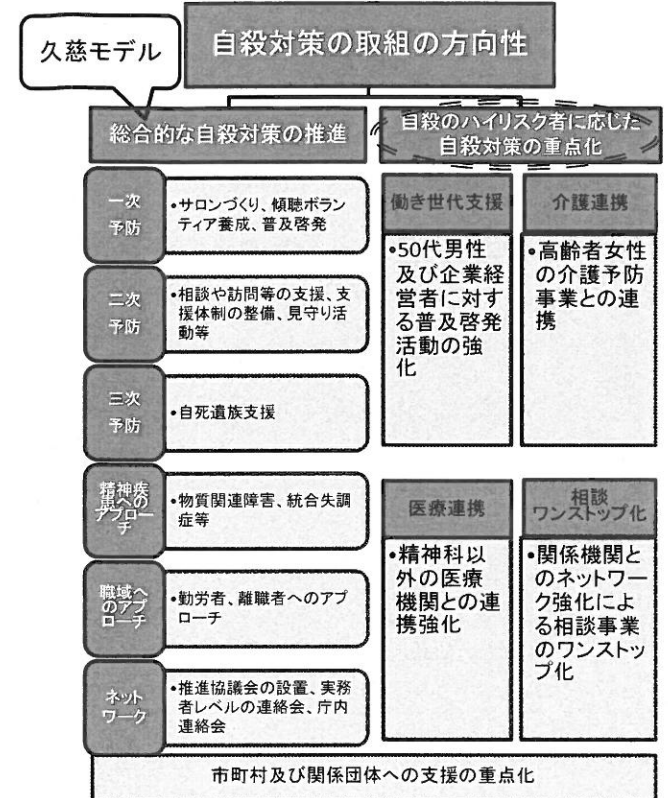
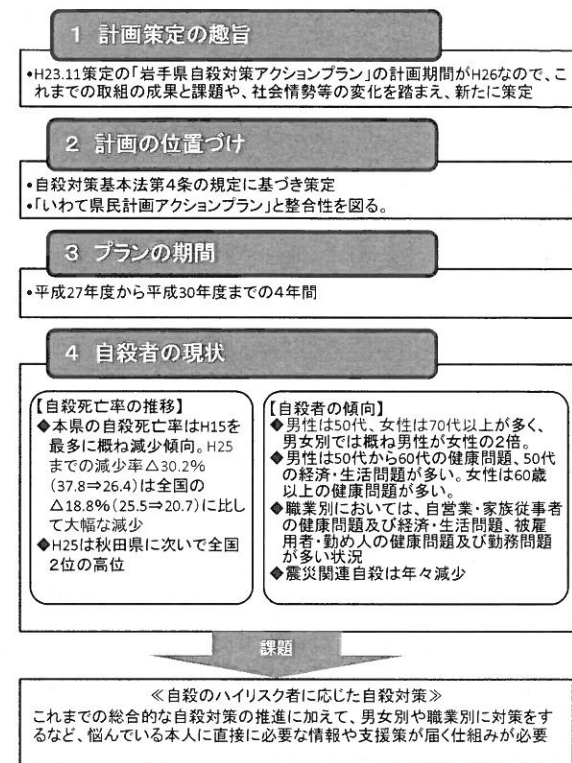
岩手県自殺対策アクションプラン(概要)①

岩手県自殺者の推移(厚生労働省人口動態統計)



		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
自殺死亡率(人口10万対)	全国	25.5	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5
	岩手県	③37.8	③34.6	③34.1	②34.1	④32.2	③33.7	③34.4	②32.2	②28.3	④25.3	②26.4	①26.6	②23.3
自殺者数	全国	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152
	岩手県	527	481	470	467	437	454	459	426	370	329	340	341	297

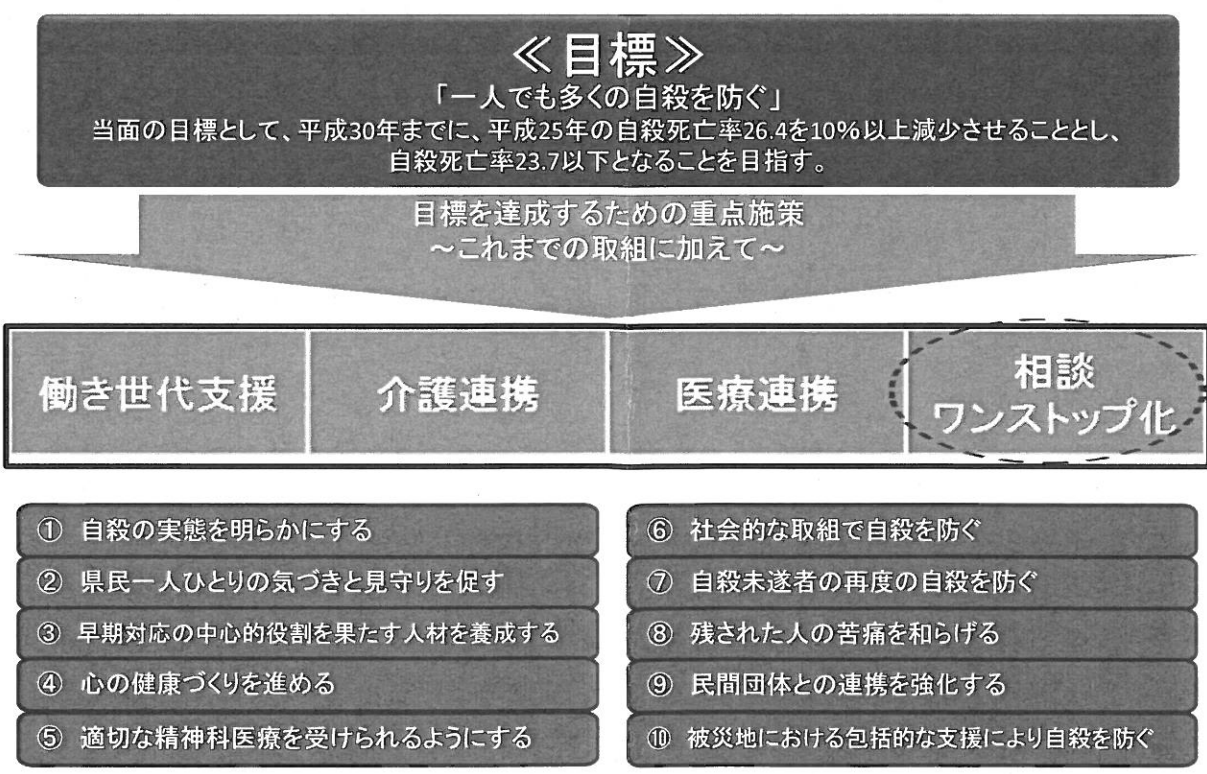
出典:岩手県保健福祉部 障がい害保健福祉課作成資料



平成28年自殺者数(警察庁自殺統計=発見地ベース)

自殺死亡順位	平成28年(速報値)				平成27年(確定値)		
	県	自殺者数	前年比(率)	自殺死亡率	県	自殺者数	自殺死亡率
一	全国	21,764人	△2,261人(△9.4%)	17.1	全国	24,025人	18.9
1位	秋田県	263人	△15人(△5.4%)	25.7	秋田県	278人	27.2
2位	岩手県	315人	2人(0.6%)	24.6	島根県	175人	25.2
2位	和歌山県	237人	32人(15.6%)	24.6	新潟県	576人	25.0
4位	新潟県	544人	△32人(△5.6%)	23.6	宮崎県	273人	24.7
5位	山梨県	192人	△13人(△6.3%)	23.0	山梨県	205人	24.6
6位					岩手県	313人	24.5

岩手県自殺対策アクションプラン(概要)②



- ① 自殺の実態を明らかにする
- ② 県民一人ひとりの気づきと見守りを促す
- ③ 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する
- ④ 心の健康づくりを進める
- ⑤ 適切な精神科医療を受けられるようにする
- ⑥ 社会的な取組で自殺を防ぐ
- ⑦ 自殺未遂者の再度の自殺を防ぐ
- ⑧ 残された人の苦痛を和らげる
- ⑨ 民間団体との連携を強化する
- ⑩ 被災地における包括的な支援により自殺を防ぐ